

第三十四回歴史講演会

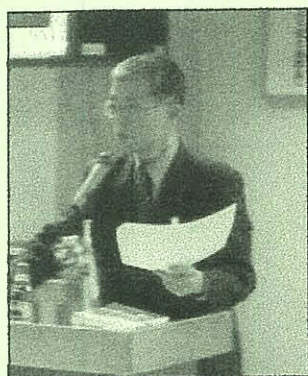
日清・日露戦争の名将

かみむら ひこのじょう

上村彦之丞

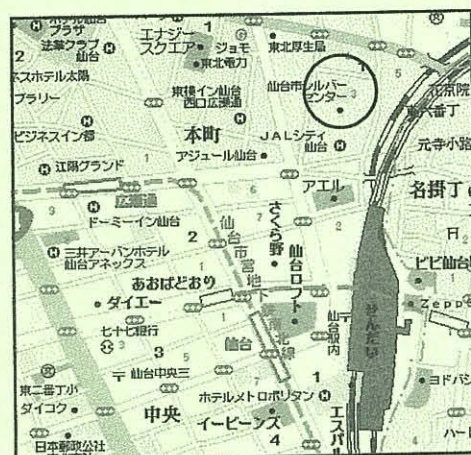


- 明治27年の日清戦争、明治37年の日露戦争。日本にとっていずれも国運を賭けた戦いでした。この2度の大战に勝利し、東郷平八郎に次ぐ勲功をあげたのが上村彦之丞海軍大将です。
- 当時も政財官の中には欧米崇拝の卑屈な根性が習い性になっていましたが、阿諛迎合を嫌いあくまでも毅然とした姿勢を貫いた日本人が上村大将でした。今の日本に一番必要とされるような人物であり、多くの皆様に聞いて頂きたいお話です。



おかだ みきひこ
講師 岡田幹彦氏
(日本政策研究センター主任研究員)

- 昭和21年、北海道生まれ。國學院大学中退、学生時代より日本の歴史および人物について研究を続け、月刊『明日への選択』に「上杉鷹山」「勝海舟」等を連載するとともに、各地で講演活動を行っている。
- 現在、「元気のぞる歴史人物講座」を産経新聞に好評連載中。



とき 11月3日(水・祝) 午後2時～4時

ところ 仙台市シルバーセンター6階・第2研修室

参加費 一般1,000円・学生無料

主催 宮城ビジョンの会 Tel.022(285)3383

後援 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局・日本会議宮城県本部